

陽東地域コミュニティ活性化プロジェクト

陽東地区 まちづくり協議会

コミュニティデザイン学科 星 佑奈 小島 隼平
 建築都市デザイン学科 佐藤 莉紗 本田 杏美
 社会基盤デザイン学科 齋藤 来仁太

背景

●桜並木の歴史

1952(昭和27)年
 戦後の平和を祈り
 → **桜の木** 500本
 (シンガー日鋼社長発案)

【うつのみや百景に選定】



●陽東地区の現状

<桜の老朽化>

- ・樹齢70年
- ・桜の植え替え・縁石撤去
 予算(1本200万円)
- ・1年に2本植え替え



<コミュニティの衰退>

- ・自治会加入者の減少
- ・自治会加入者の高齢化
- ・陽東地区住民のさくら保全や地域の連帯意識の低下

目的

テーマ「**地域のシンボル桜で街おこし**」
 テーマを達成するための方法を検討し
 賑わいや集いの場を創出することを目指す



桜の現状を把握するとともに、住民の「**さくら並木**」及び、
 陽東地区の地域活動に対する意識を明らかにする。

方法

(1) ヒアリング調査

日時：6/18(火)
 対象：「環境保全の会」
 (陽東地区の
 ボランティア団体)

(2) アンケート調査

日時：10/19(土) 10:00~14:00
 10/10(木)~10/19(土)
 対象：陽東祭・陽東コミュニティセ
 ンターに訪れた人

分析結果

①アンケート結果

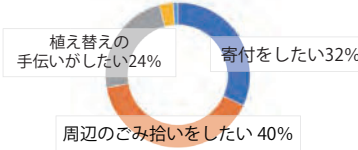
Q. 桜並木をこれから
 どうしたいか



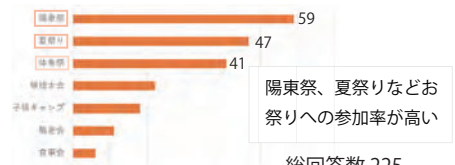
Q. 地域活性化のための
 活動について



Q. 桜の景観を守る活動に
 参加したいか



Q. 陽東地区のどの行事に
 参加したことがあるか (複数回答)



②アンケート結果分析

- ・桜の名所として復活を望む人が多い
- ・桜の保存については地区もかかわっていくべきという意見が多い
- ・地域活性化と桜の景観を守る活動として、桜祭りとゴミ拾いの意見が多い

③陽東祭参加からの分析

景品やゲーム形式だと、アンケートに答えてくれる人が多かった。特に子供を引き付けることによって、その保護者の参加も見込まれる。

④提案に向けて

- (1) 陽東さくら祭り
- (2) ゴミ拾い+α

提案

(1) 陽東春のさくら祭り

宇都宮大学主催の「さくらフェスタ」と協賛し、陽東地区を盛り上げるお祭りの開催

<内容>

* さくらクイズ

桜の老朽化や陽東さくら並木に関する情報の周知を目的とする。
 桜保全の活動をしている人しか知らない情報を主とし、成績の優劣なく子どもから大人までクイズとして楽しんでいただく。

* さくらわたあめ

桜の木をモチーフにしたわたあめを販売。祭りを盛り上げる。
 売り上げはさくら祭りの活動資金や桜の保全に使う。

* さくら募金

さくら並木を守るための資金調達。祭りによって桜への関心が高まった住民や地元の商店などに出資の協力を願う。

(2) 地域のみんでごみ拾い

地域住民のコミュニティの形成と、さくら保全活動の一環

<内容>

* 3月と12月にごみ拾いを行う。

<参加者の募集方法>



<参加者特典>

- * さくらフェスタで使える **さくらわたあめ** 引き換えチケット
- * ごみ拾い後の豚汁の炊き出し
- * アプリのポイント GET